

東京オリンピック・カヌー競技日本代表 水本圭治さん 大会へ意気込み



インタビューを受ける水本さん
※写真撮影時のみマスクを外しています。

東京オリンピックのカヌー競技日本代表に内定している、本町出身の水本圭治さんに令和2年12月29日、インタビューを行いました。母校・不来方高での講演のため帰省した同10月以降の状況、オリンピッククイヤーである今年に向けた抱負などを聞きました。

●10月の帰郷を終えた後、これまでの活動内容は。

水本 11月から12月まで、沖縄県で合宿を行い、その後、(拠点としている)長崎県へ戻った。コロナ禍で一時的不在となっていた海外の

※カヤックの4人制種目
コーチも戻り、K-4メンバー全員が高いモチベーションで練習に励むことができている。

●8月の大会本番まで約8か月。現在の心境は。

水本 本来は今年、開催されるはずだったが、1年延びたことは自分にとってプラスとなった。自分を見てくれる、応援してくれる人が増えたと感じている。五輪に向け、責任感が増すというか、以前は「メダルを目指す」と考えていたのが「取ればいいな」となり、「取りたい」、「絶対に取る」へと変わっている。

●この1年で成長を感じた部分は。

水本 合宿での成果が、体力や技術面などに表れている。具体的なことを言うと、以前はベンチプレスでMAX150kgだったのが、160kgに上がったこと。加えて、水上での「漕ぎ」について、どうすれば上手く動かせるかなど、その理由が体で分かるようになって



①日本代表チームの練習の様子。先頭(右側)が水本さん。
②ウエイトトレーニングに励む水本さん
(写真はいずれも水本さん提供)



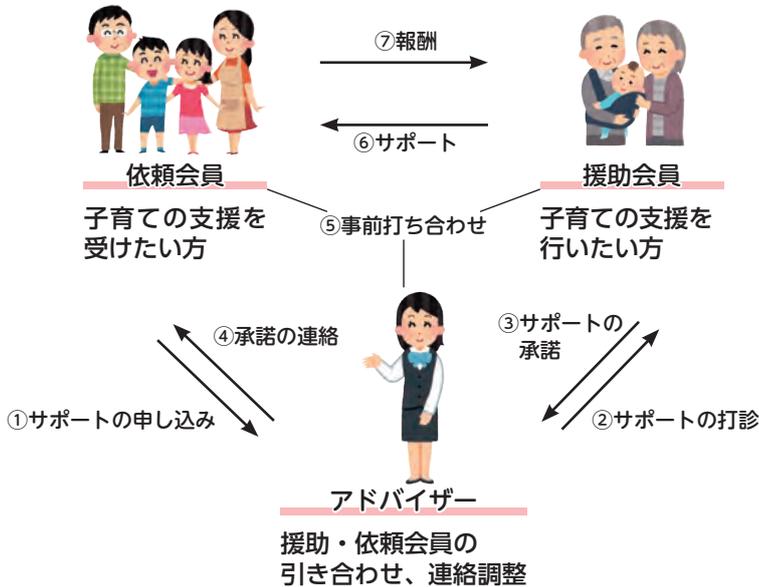
きた。15年、カヌーを続けていても新しい発見がある。
●今後、どのように準備を進めるか。
水本 年明けから、再び合宿で沖縄を訪れるが、コロナ禍でいろいろな日程が立たれない状況。だが、そういったことだけに捉われず、自分が、チームが、今やるべきことをしっかりやらなければならない。そして、

無事に五輪が開催されたとき、成績を残せるように取り組んでいく。
●皆さんにメッセージを。
水本 高校でカヌーを始めてから、いろんな方々から応援してもらっている。五輪に向けて、コロナを、不安を吹き飛ばせるような、そういった勢いを持って練習に励んでいきたい。



地域で子育てを支える “ファミサポ”をご利用ください

事業の仕組み



1月から「ファミリー・サポート・センター事業」(ファミサポ)が始まりました。これは、地域の有償ボランティアが子育て支援を行うものです。(左図参照)

活動を通して、援助会員には地域の子どもを見守るやりがいや触れ合う**楽しみ**ができ、依頼会員には身近に頼れる存在がいる**安心感**が生まれます。

異なる世代がつながりを持つことで、より良い子育て環境の向上につなげるため、ご協力をお願いします。

ファミサポの会員数 (1/18 現在)

依頼会員	19人
援助会員	11人
両方会員(※)	2人

※依頼・援助のいずれも登録している方



アドバイザーによる
会員からの聞き取り



援助会員向けの講習会を
実施しています

利用時間と1時間あたりの報酬

	時間	金額* (子ども1人につき)
平日	午前7時 午後7時	500円
	上記以外	600円
土日祝	午前7時 午後7時	600円
	上記以外	700円

※依頼会員から援助会員へ払う金額で、この他にも必要に応じて費用がかかる場合があります。



こちらのQRコードからも
問い合わせを受け付けます。

会員になるには？

依頼会員、援助会員はどちらも会員登録が必要となります。また、援助会員はファミサポ事業の一環として、事前に**養成講座**を受講します。※**受講無料**

子育てについて、基本的な知識や心構えなどを学習し、安心して活動を始めることができます。AEDを使った救急法の他、おもちゃの手作り体験なども取り入れ、楽しみながら学べます。

会員は随時募集中です。ファミサポ事業へのご参加、お待ちしております！

どんなとき使える？

依頼会員は生活のさまざまな場面で、援助会員の力を借りられます。“困った時、もっと大変な人が利用するもの”と思われがちですが、リフレッシュ目的の利用もできます。お気軽に、お問い合わせください。

▼**保育園、児童館の送迎とその前後の預かり**

▼**習い事の送迎**

▼**美容院、買い物などのリフレッシュ時 など**

※**病児・病後児、宿泊を伴う場合は除く**

■お問い合わせ 町教育委員会子ども課 (さわやかハウス内 ☎ 611-2777)